

第46回栃木県スキ - 技術選手権大会（兼全日本及び北関東予選）

1. 期 日 平成21年1月24日（土）～25日（日）
2. 会 場 福島県だいくらスキ - 場 5 0241-64-2121
3. 本 部 リゾ - トイン台鞍 5 0241-64-2011
4. 大会会長 綱川千夫
5. 大会副会長 琴寄忠男、手塚義朗、後藤昌弘、高根沢春彦、高野孝夫
6. 大会委員長 石塚光男
7. 大会副委員長 阿久津順夫
8. 大会役員 斎藤伸幸、高松守一、高松正二、黒川 孝、新井和夫、南須原武男、野城一宏、桜井 敦、塩沢弘司、後藤伸一、星 伸也、入江正夫、谷津三喜夫
9. 組織委員長 阿久津順夫
10. 組織委員 阿久津順夫、斎藤伸幸、高松守一、高松正二
11. 技術代表 新井和夫
12. 競技委員長 小林英夫
13. ジュリー 新井和夫、小林英夫、泉 裕之、磯 正嗣、毛塚克己
14. コース係長 塩沢弘司
15. コース主任 A班 谷津三喜夫 B班 入江正夫
16. コース係 A班 足助浩之
B班 新田義之
17. 主 審 泉 裕之
18. 計算主任 桜井 敦
19. 計算係 刀根美樹子、坂本幸恵
20. 審判長 A班 磯 正嗣 B班 毛塚克己
21. 審判員 篠原 浩、芳野哲也、斎藤貴次、高野正基、荒川升吾、高根沢和彦、富山英幸
鎌田瑞祥、児山将之、分田久貴、増淵耕樹、川俣聖寿、神山健樹
22. スタート審判 A班 南須原武男 B班 野城一宏
23. 記録員 斎藤伸幸、黒川 孝、後藤伸一、田代美智男、長嶋俊明
24. 報道係長 剣持孝信
25. 現地総務 高松守一、高松正二
26. 参加資格 県内外を問わずS A Jスキ - 正・準指導員及び、高校生以上で1級以上の技術者であり、いずれも傷害保険に加入済みの者。（高校生は1級同等以上の技術を有すること。又、高校生は、学校長、保護者の同意が必要。）
27. 申し込み 平成20年12月25日までに定められた申込用紙により県連事務局必着のこと。
（申し込み用紙はホームページ及び所属団体事務局にあります。なお、申し込み者氏名に必ずフリガナを記入すること。また、所属団体からの申し込みは、監督・コーチ名を明記すること。）
28. 参加料 6,000円（高校生3,000円）（申し込みと同時に納入のこと）
29. 競技内容 全日本スキ - 技術選手権大会競技規則に準ずるほか、大会開催要項による。
30. 日 程 第1日目 8：30～開会式、選手会、予選種目
予選通過者発表は予選種目終了1時間後予定
第2日目 9：00～決勝種目・表彰式・閉会式
31. その他 選手の受付はスキー場内第一食堂において1月23日（金）午後3時から4時
大会当日は午前7時30分から8時までの間に行う。
（役員は24日午前7時30分迄、審判員は23日午前9時迄に集合）
32. ドロ - ドロ - 会議（公開）を平成21年1月7日（水）午後6時30分から、宇都宮市健康の森内シルバー大学にて行うので、各チームの代表者は必ず出席のこと。

33. 開催要項

(出場者枠) 決勝 男女共予選エントリー者の上位50%位とする(小数点以下切り上げ)

(採点方法) 予選・決勝とも、2班編成で5審3採の合計得点とし公開とする。

(順位の決定) 総合成績の順位は、決勝の全種目の得点により決定する。

(表彰) (1) 男子総合成績15位まで賞状及び3位までメダルを授与する。

(2) 女子総合成績6位まで賞状及び3位までメダルを授与する。

(大会派遣) 全日本及び北関東スキー技術選手権大会要項に準じ以下の者とする。

(1) 全日本スキ-技術選手権大会の本県出場選手枠は、男子5名、女子3名で本大会において、成績上位者男子3名、女子2名を指名し、残枠3名は、北関東スキ-技術選手権大会の成績の男女それぞれ上位の順により指名し、総数8名とする。

(北関東大会において同順位の場合は栃木県大会の上位者とする。)

(2) 北関東スキ-技術選手権大会の出場選手は男子総合成績の上位順22名、女子総合成績の上位順8名を派遣する。但し、派遣選手の男女比は年度により変動する。

なお、同点の場合は決勝種目順位合計の上位者を優位とする。さらに同点の場合は、予選成績上位者を優位とする。

(費用については個人負担とする)

34. 競技種目

予選(4種目)

予 選 種 目 内 容			
大まわり	急斜面	整地	フリー
総合滑降	中急斜面	ウェーブを含む	フリー
小まわり	急斜面	整地	フリー
小まわり	中斜面	不整地	フリー

決勝(5種目)

決 勝 種 目 内 容			
大まわり	急斜面	ナチュラル	フリー
総合滑降	中急斜面	ウェーブを含む	フリー
中まわり	中急斜面	整地	フリー
小まわり	急斜面	ナチュラル	フリー
小まわり	急斜面	不整地	フリー

参加選手のウェア、使用するスキー台数の規制について

大会予選から決勝まで使用出来るスキー台数は計3台まで、レーシングスーツ(ワンピース・ツーピース)は使用を認めない。

参加者は、頭部を保護する物を着用すること。